

表8 再生産率の推移

出生率は、昭和46年以降減少傾向を示してきており、再生産率をみると、年齢階級別の合計である粗再生産率（合計特殊出生率）では1.38、また、女子だけの年齢階級別出生率の合計である総再生産率は0.67と、将来人口の増減の境界である1を下回っている。

	平成19年	20	21	22	23	24	25
出生数	14,051	14,399	14,276	14,292	14,307	14,257	14,286
出生率	10.6	10.7	10.4	10.4	10.3	10.2	10.2
粗再生産率（合計特殊出生率）	1.29	1.32	1.31	1.32	1.34	1.36	1.38
総再生産率	0.62	0.64	0.63	0.64	0.65	0.65	0.67
純再生産率	0.61	0.63	0.63	0.63	0.65	0.65	0.66

注）純再生産率の算出については、当該年の川崎市生命表を用いた。

資料：庶務課「人口動態調査」より